

那覇市立石嶺小学校



外観

那覇市立石嶺小学校は、1979(昭和54)年に創立。経年による老朽化への対応及び、学校施設の耐震化を目的に建て替えが行われた。



男子トイレ 大便器ブース

子どもたちによる清掃・メンテナンスを考慮し、シンプルで掃除がしやすい、ちなし形状のピュアレストQRを設置。



お掃除コーナー

お掃除コーナーには、乾式化についての説明および学校トイレ研究会の乾式清掃方法ポスターを掲示して、清掃における注意喚起を行っている。



トイレ入口・サイン

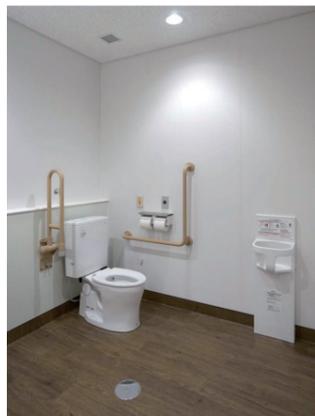


大きなイラストと色分けにより、男女トイレとみんなのトイレがひと目でわかるようにしている。みんなのトイレでは、多様な利用者に配慮し車いすマークのほか男女マークを追加している。



女子トイレ 洗面コーナー

白とピンクでコーディネートされた空間。明るくやさしい雰囲気トイレ空間となっている。



みんなのトイレ

災害時に防災拠点として使用されることや学校行事で来校される保護者や地域の方など、さまざまな利用者を想定して、手すりのほかにベビーカーも設置している。



男子トイレ 小便器コーナー

床の清掃性に優れた低リップタイプの壁掛小便器を設置。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを設置している。



女子トイレ 大便器コーナー

窓から自然光が射込む大便器コーナー。休み時間の集中利用を考慮し、ドア吊元を奥にすることで、ブースの空き状況がひと目でわかるようになっている。



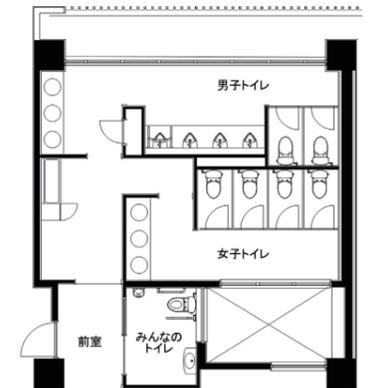
特別支援教室

近くにトイレを必要とする児童がいる特別支援教室には、教室内に大便器ブースと粗相をしてしまった際にすぐに洗い流せるシャワールームを設置。



トイレ図面

男女トイレに入る前の前室に面したところに、みんなのトイレを配置。どのトイレに入ったかが、廊下からわかりにくいように工夫している。



水まわりの特長

建物の特徴

「那覇市立石嶺小学校」は、1979(昭和54)年に創立。経年による老朽化が進んでいたことから、学校施設の耐震化を目的に校舎の建て替えが行われた。学校施設は、子どもたちの学習の場、生活の場であるとともに、地域の交流の場でもあることから、教育環境として安全・安心を第一に計画。耐震性の確保を進め、災害時の避難施設として整備するとともに、今後の施設老朽化に対して予防保全を推進していくことで維持管理を実施。子どもたちや地域の住民にとって安全・安心な学校施設づくりを目指している。

水まわりの特長

大便器は、すべて洋式化。前校舎に和式トイレがあった際には、使い方や座り方など指導していたが、全洋式になったため、子どもたち自身で使用でき、「安心して利用できるようになった」などの声が届いている。さらに内装は、真っ白な壁にブルーやピンクをアクセントカラーとし、明るく清潔感のあるトイレとなっている。また、車いす使用者やさまざまな身体状況の方が利用する多機能トイレも、ネーミングやサインなど有識者の意見を取り込み「みんなのトイレ」とし、いじめにつながらないよう入口のレイアウトを入りやすく工夫するなど、綿密に検討を進めた。

建築概要

| | |
|---|-------------------------|
| 名称 | 那覇市立石嶺小学校 |
| 所在地 | 沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目360番地8 |
| 施主 | 那覇市 |
| 設計 | ロフト建築設計事務所・ニライ設備設計共同企業体 |
| 施工 | 共和産業・大晋建設・鏡原組共同企業体 |
| 竣工年月 | 2020年7月 |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造・地上3階 |
| おもなTOTO使用機器 | |
| 腰掛便器:CS232B+SH232BA/リモコン便器洗浄ユニット:HE35JR | |
| 普通便座:TC291/棚付二連紙巻器:YH702 | |
| 自動洗浄小便器:UFH500/ハイドロセラフロアPU:AB690BR | |
| マーブライトカウンター(陶器タイプ):ML50/洗面器:L530 | |
| 立水栓:TLC11AR/ベビーカー:YKA15系 | |
| パブリック用手すり:T112CU22, T112CL10, T112HK7R | |
| シャワールーム:JSV0812ULW系 | |